

平成 2 0 年 9 月

# 伊東市議会 9 月定例会

## 代 表 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

## 代 表 質 問 順 序

1 会 派 民 政 伊 東 良 平 君

2 正 風 ・ 興 志 会 久 保 谷 廠 司 君

3 清 峰 ク ラ ブ 稲 葉 富 士 憲 君

4 日 本 共 産 党 佐 藤 美 音 君

5 公 明 党 楠 田 一 男 君

## 代 表 質 問 要 旨

会派民政 伊 東 良 平

平成19年度決算に関し、市長の政治姿勢も含め、以下の諸点について伺う。

- 1 当決算年度において、伊東市内の景気動向をどのように分析され、元気のある地域づくり応援事業、マリンタウンウッドデッキ新設工事及び健康保養地づくり事業等の予算執行に当たられたか。

また、「市民の目線に立つ」ことを市長はモットーとされているが、当決算は節約のみに終始した決算であったとの印象をぬぐえない。市民の求めるところをどのように取舍選択をし、予算執行に当たられたのか。

- 2 3つのKの中では「観光」が最重要事項であると認識しているが、観光費決算額約6億7,000万円、歳出全体に占める3%の構成比などからして、国際観光温泉文化都市を標榜する伊東市として、観光施策の展開が十分になされ、所期の目的を達成したと認識されているか。

- 3 育英奨学事業の利用状況が極めて低い。いずれ伊東市に戻っていただき、市内経済の発展に寄与できる有為の人材を育成するための重要施策として、金額の大幅引き上げを図り、利用者の拡大を図るべきではないかと思うが、どうか。

また、伊東市内の医師不足解消の一助として、医学部入学者に対し、伊東市内における医療機関などへの一定の勤務年数を条件とする特別加算などを考慮した奨学金制度の創設など、多様な対応を行う考えはないか。

- 4 市民病院の新設に向け、現在急速に作業が進められているが、これまでの間、常に医師不足、看護師不足が懸念されてきている状況のもと、将来とも医師及び看護師の充足は支障なく行われると理解してよいか。また、建設に係る財源確保及び償還の見通しはどうか。
  
- 5 全市を対象に賦課され、多額の納入がされている固定資産税、都市計画税であるが、道路整備、ごみ収集、防災対策などの現状からして、市南部地域に対する還元が十分に行われていないように思うがどうか。
  
- 6 主要県道伊東大仁線県単道路改良事業に対する地元負担金が支出されているが、全体事業計画及び進捗状況について伺う。

## 代 表 質 問 要 旨

正風・興志会 久保谷 廠 司

### 1 平成19年度決算を踏まえ以下伺う。

市税等の収納率の向上策について伺う。また、収入未済額、不納欠損額に対する方策についてどのように講じたか伺う。

財政構造について伺う。

市債について伺う。

財政調整基金など基金について伺う。

### 2 市長の政治姿勢について以下伺う。

6市6町首長会議（通称伊豆半島サミット）の現在の位置づけ並びに今後の運営について伺う。

単年度黒字を2年連続してなし遂げた競輪事業の今後について伺う。

平成25年度開設されるとする新市民病院について伺う。

必ず来ると言われる新型インフルエンザに対する保健医療対策について伺う。

## 代 表 質 問 要 旨

清峰クラブ 稲 葉 富士憲

### 1 平成19年度決算を踏まえ、以下伺う。

今後、新病院建設事業、環境美化センター改修事業等大規模な事業を行うことに伴い、経常収支比率はどのように推移すると予測しているのか。

の予測の帰結として、老朽化した施設の改修など最低限必要な投資的経費は確保されるのか。

新病院建設に踏み出すに至った理由について伺う。

### 2 市長の政治姿勢について

本市の人口増加策について伺う。

ア 出生による自然増が望めない現状にかんがみ、都市圏からの移住者の増加を図るための施策を行うべきと考えるが、いかがか。

イ 管理会社の破綻等によりインフラの整備が不十分な分譲地について、どのような対応をしているのか。

ウ イについて、今後、定住者増加のために、インフラ整備に關与する計画はあるのか。

行財政改革について伺う。

ア 伊東市システムの3本の柱のうち、意識改革における「職員の高い志」について、高い志を持たせるためにどのようなことを行ったのか。

イ アの結果を、どのように評価しているのか。

ウ 職員の減員と地方自治体への権限移譲が行われる中で、職員の仕事量の増大にどのように対処していくのか。

## 代 表 質 問 要 旨

日本共産党 佐藤美音

### 1 市政の重要課題について次の2点を伺う。

市民病院の建設に当たって、次の諸点を伺う。

ア 建設予定地が火山の火口跡地であり、地盤の安全確保のために建設費が大きく膨らむ心配はないか。建設費はどれくらいまでが許容範囲と考えるか伺う。

イ 山越えをしないで済む、信頼される市民病院とするためには、どの診療科をどう充実しようと考えているか。また、そのための医療スタッフの確保をどう進めるのか伺う。

原油高や長引く不況のもとで、市民の暮らしや営業を守る上で、実態調査や緊急融資、市税等の減免制度の拡充等を行うべきではないか。

### 2 平成19年度決算を踏まえて、次の諸点を伺う。

国の「骨太方針2006」のもとで、「社会保障費1兆1,000億円(年間2,200億円)削減」等が進められているが、「住民の暮らしを守る」自治体の財政に、これらがどう影響しているか伺う。

観光立市の伊東市にとって、新たな魅力創設も必要だが、従来輝いていた宇佐美海水浴場などの魅力を維持することにも力を注ぐべきではないか。

平成19年9月議会で廃案になったごみ有料化に係る条例案は、3月議会でそのまま可決された。その方針で、ごみ減量がどう進むと考えるか伺う。

## 代 表 質 問 要 旨

公 明 党 楠 田 一 男

1 平成19年度における行財政改革の取り組みについて伺う。

伊東市システムによる事務事業及び組織機構の見直しの成果はいかがか。

「3つのK」のうち、

ア 新規事業として取り組まれたインバウンド宣伝事業の成果はいかがか。

イ 行財政改革大綱における「中心市街地の活性化」施策の実施状況はいかがか。

2 平成19年度における財政状況を踏まえた今後の対策について伺う。

実質収支において、類似団体の平均実質収支額5億3,000万円台、平均実質収支比率4.1%台に乗せるための対策はいかがか。

財政力指数を「1」に近づける方策はいかがか。

経常収支比率を市レベルで良好とされる75%前後に抑える方策はいかがか。

実質公債費比率の今後の傾向はいかがか。

プライマリーバランスは黒字であるものの小幅であり、市債現在高は多額に上っているが、今後の推移はいかがか。

3 平成19年度一般会計決算における歳入について伺う。

自主財源において、税制改正による影響額と収納率向上対策に伴う収入額及び今後の対策はいかがか。また、入湯税が減少に転じた要因はいかがか。

依存財源において、税源移譲による影響はいかがか。



臨時財政対策債の起債期限まであと2カ年度となったが、見通しはいかがか。

4 平成19年度一般会計決算における歳出について伺う。

消費的経費において、ラスパイレス指数が前年度を上回り「100.6」となった要因はいかがか。また、定員適正化計画の見通し、削減による市民サービスへの影響はいかがか。

投資的経費において、道路、公園、学校など、社会資本の整備に要する経費を確保していくための方策はいかがか。

5 平成19年度決算を踏まえる中で、今後の市政運営をどのようにお考えか、ご決意を伺う。